



理念	現場運営	知識	合計
／16	／18	／66	／100

所属施設： 所属部署： 受験番号： 氏名：

ケアマイスター試験を受ける前に

ケアマイスター制度には、スタッフ 1 人 1 人に「自ら考える力を身につけてほしい」という思いが込められています。そのため、問題には自由記述で解答するものが含まれています。できる限り自分の考えを書き込めるように、問題文にしっかりと目を通し、時間配分を意識して試験に取り組んでください。 [* 漢字間違いは△](#)

《法人理念に関する問題》 16 点

ケアマキスが求める職員に『質の高いケアをめざし、自らの成長をめざす人』の考え方にに基づき、以下の問題に答えなさい。

介護現場における人材育成は、職員のスキル・モチベーションアップはもちろん、ご利用者にも大きなメリットを生み出します。ケアマキスでも来たるべき人材不足を危惧し、介護現場における多様な働き方や教育制度の一環としてケアマイスターなどを導入しています。

1.あなたは特別養護老人ホームで働く4年目のスタッフでマイスターはゴールドクラスを取得しています。

今回ケアマイスターのブロンズ試験対策研修会が開催されることになり、あなたの後輩で昨年入職した無資格のAさんも参加するよう指示がありました。Aさんは入社当初こそ進んで質問したりと比較的前向きで、指導に対しても飲み込みが早く期待できるスタッフでした。しかし最近では様々な場面で批判的・マイナス的な発言が多く、現場でも「目が離せない利用者ばかり」「仕事が忙しい」「ケアマイスターは意味がない」といった発言を繰り返しています。

(1) マイナス発言や批判的な意見を繰り返す A さんですが、現場にどのような悪影響を与えと考えられますか。2 つ答えなさい (2×2)

・

・

・**スタッフの志気低下**： マイナス的な発言を聞くことで、意欲のあるスタッフの志気が削がれる可能性があります。これにより、全体で取り組むべき事柄に対する一体感が失われます。

・**職場全体のやる気低下と離職リスク**： 批判的な意見が蔓延すると、職場全体のやる気が低下し、離職が増える危険性があります。職場の士気が低下し、建設的な意見が出にくい環境が生まれることもあります。

・**あきらめの心の芽生え**： 批判的な環境により、スタッフが気づいたことを言い出しにくくなり、あきらめの心が芽生えてしまう恐れがあります。

・**補足**： 上記の回答以外にも、以下のような影響が考えられたら○。

- 会社のイメージ低下
- 利用者への悪影響

(2) あなたはAさんの指導担当になりました。指導担当としてAさんを以前のように前向きで特養で活躍できるスタッフにしていきたいと考えています。そこであなたがAさんを教育・指導を行っていくにあたり、どのような取り組みを実施しますか。2つ答えなさい (2×2)。

・

・

・ 原因の特定と対策の提案：

- 原因の特定： まず、A さんが批判的な発言を繰り返す原因を理解するために、直接話を聞きます。仕事の負担が大きいのか、特定の業務に対して不満があるのか、個人的な問題が影響しているのかを確認します。
- 対策の提案： 原因を特定したら、それに対する具体的な対策を講じます。例えば、業務負担が大きい場合は、業務の分担を見直し、負担を軽減する方法を検討します。また、特定の業務に対する不満がある場合は、その業務に対するサポートを強化し、改善策を講じます。

・ コミュニケーションの促進とサポートの強化：

- コミュニケーションの促進： A さんと定期的に面談を行い、意見や感想を積極的に聞く場を設けます。これにより、A さんが感じている問題や不満を早期に把握し、適切に対応できます。
- サポートの強化： A さんがポジティブな意見を持つようになるためのサポートを強化します。例えば、成功事例を共有し、ポジティブな経験を増やすことで、A さんの意識を変えることができます。また、エルダーや定期面談にて、経験豊富なスタッフからのアドバイスを受けられるようにします。

* 何が悪いのか原因を探って、対策を講じるような指導をおこなえば○



（３）あなたは指導担当としてAさんと関わっていくうちにAさんから「介護の仕事は好きでもっと成長したい」「将来は介護福祉士の資格を取りたい」といった話を聞くことができました。Aさんに対して成長や資格取得を踏まえたマイスター制度の意義を3つ説明してください（2×3）

- ・ケアマイスター制度は、介護職員が現場で必要とする知識や技術を体系的に学ぶ機会を提供します。Aさんが介護福祉士の資格を目指す際にも、この制度を通じて基礎から応用までのスキルを段階的に習得できるため、キャリアアップに非常に有利です。
- ・ケアマイスター制度は、資格取得のプロセスをサポートします。Aさんのように無資格・未経験の新人スタッフでも、制度に参加することで介護職員初任者研修や介護福祉士の資格取得に必要な知識や実践的なスキルを効率よく学ぶことができます。結果として、国家試験の合格率も向上します。
- ・この制度を通じて、Aさんは自己成長を実感することができ、職務に対するモチベーションも向上します。
- ・ケアマイスター制度には5段階のクラス設定があり、あなたが毎年目標を持って働くことができます。これにより、自己成長を実感しながら働くことができ、モチベーションの維持につながります。
- ・毎年行われる筆記試験と実技試験を通じて、あなたの知識や技術が向上します。これにより、現場での自信が高まり、質の高いケアを提供するためのスキルが身に付きます。

補足ポイント：

- ・スキルの認識：介護技術において自分がどのレベルにあるかを認識でき、あなた自身のスキルアップにつなげやすいです。
- ・安心感の提供：新人スタッフやご利用者、ご家族があなたや他のスタッフの経験年数や技量を認知でき、質問できる相手が分かりやすくなり、不安の解消や安心感につながります。
- ・会社の理念理解：勉強会や試験を通して会社の理念をより近くに感じることができ、職場全体の一体感が高まります。最終的には施設全体のケアの質向上にも貢献します。

（４）ケアマイスターの意義を説明された A さんより「有意義な制度であることはわかりました。〇〇さん（あなた）はケアマイスターの資格を取ることで得られるものはありましたか？」と質問がありました。あなた自身が経験したエピソードを交え、スタッフに伝えなさい。（配点 2）

- ※下記の要素が盛り込まれたエピソードであれば○
- ・お客様や他のスタッフからの信頼を得ることができる
 - ・お客様への介護、介護方針（ケアプラン）について自信をもって提案がすることができる
 - ・介護方法について視野が広がり、介護の質を高めることができる
 - ・お客様にとってより効果的な介護方法を考えることができる
 - ・スタッフに介護方法や考え方へのアドバイスすることができる

《現場運営に関する問題》

1. 事例を読み問題に答えなさい。

【事例】

あなたは特別養護老人ホームで看取り介護を担当している介護職員です。ご利用者の巻須さん（85 歳、男性）は、末期の慢性疾患を患っており、医師から余命が短いと診断されています。巻須さんは終末期ケアを希望し、家族もそれを望んでいます。最近、C さんの状態が急激に悪化し、食欲が低下し、意識も混濁してきました。巻須さんは苦痛を訴えることも増えてきましたが、医療的な介入を最小限に抑えたいと希望しています。

巻須さんの苦痛を軽減するために、どのような対応策を取りますか？「痛みの緩和」と「精神的なサポート」について具体的な方法を挙げてください（2×2）。

痛みの緩和：
精神的なサポート：

痛みの緩和：

- ・医療的な介入を最小限に抑えたいと希望しているため、医師や看護師と連携し、鎮痛剤の適切な使用を検討。
- ・必要に応じて、非薬物療法（例：マッサージや温湿布）も取り入れ、痛みの軽減に努めます。

精神的なサポート：

- ・不安や苦痛を軽減するために、優しく声をかけたり、リラックスできる環境を整え、安心して過ごせるようにします。
- ・家族や友人との面会を積極的にサポートし、心の支えを提供します。

2. 日本は、マグニチュード 5 以上の大地震が発生しやすい地震大国と呼ばれる国です。地震は身近なものであり、いつ南海トラフ地震が起きてもおかしくありません。そのため、地震が起きた時のために、事業継続計画（BCP）を含む様々な準備をしておく必要があります。特に高齢者が多く利用する介護施設は、地震による被害が大きくなりやすいため、介護従事者は他の事業以上に入念な地震対策を行わなければなりません。地震発生時の避難を迅速に行い、二次災害を抑えるために必要な建物や設備の定期点検項目を、具体的に 2 つ答えなさい（2×2）



避難経路の点検：

- ・非常口や階段など定められた避難経路に物を置かないことを確認します。
- ・非常口や防火扉の開閉がスムーズに行えるかをチェックします。

火災対策の点検：

- ・地震火災発生に備え、消火栓付近に物を置かないようにします。

家具や設備の点検：

- ・棚や机などの上に物を山積みしないか、また転倒しやすい家具がしっかり固定されているかを定期的に確認します。

非常用設備の点検：

- ・非常用発電機や緊急時の照明、火災報知器などの非常用設備が正常に動作するかを定期的に点検すること。
- ・非常用食料や水の備蓄の使用期限を確認して過ぎたものは新しいものに交換する。

耐震補強の確認：

- ・建物の構造や基礎部分に関する耐震補強の状態を定期的に確認し、必要に応じて修繕や補強を行うこと。
- ・壁や柱にひび割れがないか、配管がしっかり固定されているかなどもチェックする。

3. 施設運営における職員配置の考え方と業務の効率化について、以下の問題に答えなさい。（10）

【問題】

あなたは定員 60 名の特別養護老人ホーム「さくら苑」でリーダーを担っています。次の文章は、介護老人福祉施設の「人員に関する基準（基準省令第 2 条）」の介護職員または看護職員に関する基準を記したものです。

『介護職員及び看護職員の総数は常勤換算方法で、入所者の数が 3 又はその端数を増すごとに 1 以上とする。』

※常勤換算方法とは、従業員の勤務延べ時間数を常勤が勤務すべき時間数で除することにより、従業員の員数を常勤の従業員の員数に換算する方法である。

（1）「さくら苑」では下記職員が勤務しています。この施設における介護職員または看護職員の常勤換算人数を計算しなさい。（配点 2）

常勤職員：15 名

非常勤職員の 1 週間の延べ勤務時間：360 時間

※1 週間あたりの常勤職員の労働時間は週 5 日×8 時間＝40 時間とする。

非常勤職員 $360 \div 40 = 9$ 名

$15 + 9 = 24$ 名

24 名

（2）60 名の利用者に対して介護保険法の基準である 3:1 の職員配置としたとき、職員の常勤換算人数を計算しなさい。（配点 2）

$60 \text{ 名} \div 3 = 20 \text{ 名}$

20 名

（3）さくら苑では、有給取得 100%を目指しています。非常勤の有給取得率は 100%ですが、常勤職員の取得については、平均 3 日分が未取得となっています。100%を達成するためには、常勤換算法で何名の雇い入れが必要か答えなさい。（配点 2）

※1 か月の常勤が勤務すべき時間数を 160 時間として考える。

$3 \text{ 日} \times 8 \text{ 時間} \times 15 \text{ 名} = 360 \text{ 時間} \div 160 \text{ 時間} = 2.25$

2.25 名 3 名〇

（4）人材不足が続く介護業界全体にとって業務の効率化は必須です。残務ゼロや有給取得 100%達成に向けての対策を、新たな雇用以外で生み出そうと考えた時にどのような方法や対策があるか、その方法や対策と導入メリットを答えなさい。（配点 2×2）

方法や対策	※解答例 ◆介護ロボットや ICT の導入 ◇タスクシフトの導入
導入メリット	◆介護スタッフの身体的、精神的負担が軽減される（ハードワークによる離職防止、人力の持ち上げ不要、腰痛防止） ◆心や時間に余裕が生まれ、その分手厚い介護につなげられる（サービス向上、介護の質の向上、技術差が出にくい） ◆利用者の身体的・精神的苦痛の軽減（人相手ではないため羞恥心の軽減、気遣いの軽減、利用者の怪我防止、フルタイムで手厚い対応ができるため褥瘡予防や離設予防等につながる） ◇介護以外の業務（例えば清掃や食事配膳）を専門スタッフに委託し、介護職員が介護に集中できる環境を整える。 ◇介護士は介護仕事に専念できることで質の向上や業務量の削減につながる。 ◇本来やりたかった業務に専念できる事でモチベーションが向上し、離職防止につながる。



「知識問題」 66 点

1. 現場で発生した事故の要因分析について、以下の問いに答えなさい。 (10) 介護の基本

【問題】 あなたは有料老人ホームでリーダーをしています。以下は 3 か月前に入職したスタッフ C から提出されたご入居者の事故報告書です。

山口様
90 歳、女性、要介護 2
脳梗塞の後遺症で軽度の右片麻痺がある。日常生活はほぼ自立で、夜間の排泄のみナースコールを押してもらい、付き添っている。認知症は年相応の物忘れ程度。

事故発生状況と対応	
5 : 30	巡回で居室に行くと、ベッド横の床にうつ伏せで倒れている。声をかけると「トイレに行こうとして、そこからは覚えていない」と話す。
5 : 40	体に痛みはなく、外傷もなかった。血圧 128/65 脈拍 70 体温 36.2℃ トイレ誘導、歩行状態問題なし。
5 : 50	「もう少し寝る」と朝食の 7 時半まで横になって過ごす。
7 : 30	朝食はいつも通り召し上がる。
事故の原因と再発防止策	
・巡回の回数を増やす。 ・ナースコールを必ず押すように何度も伝える。	

(1) スタッフ C から提出された再発防止策から、スタッフ C は事故の原因をどのように考えていると推測できますか。(配点 2)

- ・見守り不足 (人員不足)
- ・本人がナースコールを押さなかった

(2) (1) の内容では対策としては不十分だと考えられます。この事故の要因を「山口様の要因」、「スタッフの要因」、「環境の要因」にわけて仮説をたてることにしました。それぞれの要因について考えられることを答えなさい。(配点 2 × 3)

山口様の要因	例) ナースコールを押すこと忘れていたかもしれない。 ・視力が低下してきており、良く見えていなかった ・認知症が進行してきて、一瞬わからなくなった (混濁した) ・夜間せん妄があったかもしれない ・血圧の薬を服用していたら、規律性低血圧を起こしたかもしれない ○右手が使いにくかった。○届かなかった。○使い方がわからなかった。 ○手間をかける、申し訳ないと思われたかもしれない。
スタッフの要因	例) 夜間でもナースコールを押すように伝えていなかったかもしれない。 ・スタッフがナースコールを無視することがあり、夜間は押さないようになっていたかも ・同じ時間帯でナースコールが重複し、対応が出来ない状況かもしれない ・新人スタッフで、山口さんの対応が不十分であったかもしれない ・夜間、ナースコールは鳴らさなくなっておられ、定時でのトイレ誘導とサービス内容が変わっていたが、スタッフ C には引継ぎがされていなかった。 ○普段から気を使わせていたかもしれない
環境の要因	例) 夜間巡回のマニュアルに不備があるかもしれない。 ・お客様のケア内容の変更を共有する仕組みがうまくいっていないかもしれない ・新しいスタッフの一人での勤務開始の判断が不十分かもしれない ・ベッドサイドレールが老朽化し、ぐらついていたかもしれない。 ・ベッドのブレーキがかかっていなかったかもしれない ・居室のベッド灯が消えてしまっていたかもしれない ○コールがすぐに押せない環境 ○ナースコールがわかりづらい

(3) 事故防止、安全対策の取り組みについて、不適切なものを 2 つ選び、番号で答えなさい。(配点 1 × 2)

- ① 厚生労働省は 2021 年 4 月の介護報酬改定で、施設系サービスのすべてで安全対策担当者を選任することを義務付けた。
- ② 事故防止に向けて、ケアカンファレンスやサービス担当者会議で関係専門職と利用者や家族が参加し、生活リスクについてチームで情報共有・検討する。
- ③ 施設介護における安全確保のために、転倒リスクの高い利用者の社会参加については制限を設ける必要がある。 ×社会参加抑制と安全対策は結び付かない
- ④ 介護事故の種類で多い順は、転倒、転落、誤嚥となっている。
- ⑤ 介護事故が発生した場合、市町村や家族などへの報告は任意で行わなければならない。
×2000 年から義務化されている

③	⑤
---	---

2. 終末期ケアについて下記の問いに答えなさい。 (6) 生活支援技術

(1) 亡くなる前に現れる身体の変化を 2 つ答えなさい。(配点 1 × 2)

発熱、排便・排尿障害、褥瘡の発生、浮腫、不安定な呼吸やチアノーゼ	脈拍の変化、血圧低下、意識レベルの低下、せん妄、食事量水分量の減少
----------------------------------	-----------------------------------



(2) 死の直前の呼吸変化の1つとして、10秒～30秒ほど呼吸が止まり、浅い呼吸と深く大きな呼吸を繰り返す呼吸を何というか答えなさい。(配点1)

チェンストークス (呼吸)
○チェンストーク

(3) 利用者と死別した家族に、精神的なサポートを行うことを何というか答えなさい。(配点1)

グリーフケア

(4) 利用者の死にかかわった介護士や他職種が、対象のケースを振り返り話し合う「デスカンファレンス」を、ケアチーム間で開催することがあります。デスカンファレンスを開催する目的を答えなさい。(配点2)

- ・似たようなケースや今後のケアの向上に今回の経験を活かすために意見交換を行う。
- ・亡くなった利用者のケアを振り返り、悲しみを共有するため。スタッフの心のケアのため。
- ・利用者の生き方や死を尊重し、その人生に敬意を払う場にする。

3. 高齢者に多い疾患について、それぞれ特徴の説明に当てはまる疾患名を記入しなさい。(配点1×5) 発達と老化の理解

① パーキンソン病 △パーキンソン △パーキンソン症候群	神経伝達物質であるドーパミンの不足により起こる進行性の神経変性疾患。筋固縮や振戦など4大徴候がある。
② 筋萎縮性側索硬化症(ALS)	筋肉を動かすための神経に異常が発生し、手・指など上肢の筋萎縮から始まることが多い。特定疾病の1つ。
③ 心筋梗塞	冠状動脈が閉塞し、その先に血液がいなくなることで心筋の壊死、ポンプ機能の低下を引き起こすもの。
④ 緑内障	眼圧上昇などにより視神経が障害され、視野が狭くなる。進行すると失明する場合もある。
⑤ 関節リウマチ △リウマチ	全身の関節に炎症を起こし、進行すると骨や軟骨が破壊され関節に変形が起こる疾患。女性に多い。

4. 介護過程について、下記の問いに答えなさい。(6) 介護過程

(1) 介護過程とは、介護士が利用者の生活を支援する際の重要な手順です。次の5つのステップを適切な順番に並べなさい。(配点2) *すべて正解で○

1. 介護計画の立案
2. アセスメント(評価)
3. 実施
4. モニタリング(評価の実施後、必要な改善点の確認)
5. 計画の見直し

2 → 1 → 3 → 4 → 5

(2) 情報収集とアセスメントをする際に介護士に必要なこととして適切でないものを2つ選び、番号で答えなさい。(配点1×2)

- ①倫理観 ②観察力 ③推測力 ④先入観 ⑤固定観念

×先入観や固定観念は情報収集やアセスメントに影響を与え、適切な支援ができなくなる

④

⑤

(3) 介護過程は客観的で科学的な思考と実践の過程であるが、なぜ介護過程を展開することが求められているか答えなさい。(配点2)

例：利用者が望む「よりよい生活」を実現するため

- ・利用者個々に適した介護を提供するため
- ・介護の専門性を高めるため
- ・利用者に関わる専門職が共通の目標を持ち連携を図るため
- ・尊厳を守るケアを実践するため
- ・生きがいや役割のある生活を送って頂くため
- ・自立支援に基づいた介護を行うため

5. 介護保険制度について、下記の問いに答えなさい。(8) 社会の理解

(1) 各機関と主な役割について、正しい組み合わせのものを2つ選びなさい。(配点1×2)

- ① 国民健康保険団体連合会 … 介護報酬の審査・支払、苦情処理などの業務を行う
- ② 市町村長 … 居宅サービス事業者の指定者 都道府県の役割
- ③ 介護保険審査会 … 要介護認定・要支援認定の結果や、保険料の決定などに不服がある場合の審査請求機関
- ④ 介護給付費審査委員会 … 市町村の介護保険財政の安定化を図る 財政安定化基金の説明
- ⑤ 都道府県知事 … 居宅介護支援事業者の指定者 市町村の役割

①

③

(2) 介護保険について、()内の適切な語句に○をつけなさい。(配点1×4)

- ① サービス事業者は、(3年 ・ 5年 ・ 6年) ごとに指定の更新を受けなければならない。
- ② 事故報告書は(1年 ・ 2年 ・ 3年) 保管する義務がある。
- ③ 居宅サービスに含まれる福祉用具購入費は年間で(5万円 ・ 10万円 ・ 15万円) が対象となる。
- ④ 介護保険料は(1年 ・ 3年 ・ 5年) ごとに見直しが行われている。



(3) 要介護状態になることを予防するために市町村が実施している「地域支援事業」に該当するサービスを2つ選びなさい。(配点 1×2)

- ①短期入所生活介護 ②訪問介護 ③訪問入浴 ④通所リハビリ ⑤通所介護

②	⑤
---	---

6. 次の成年後見制度の説明文①～④の()に適切な語句を記入しなさい。(配点 1×4) 社会の理解

- ・法定後見制度には、対象者の判断能力に応じて、「後見」「保佐」「(① 補助)」の3つの類型に分かれる。
- ・成年後見制度の開始手続きが可能な申立権者には、本人以外に(② 配偶者)が認められている。 4 親等内の親族、任意後見人、市町村長 等
- ・後見人等の選任は(③ 家庭裁判所)が行う。 裁判所△ ↑ 家族○、市町村○
- ・後見人等は判断能力が低下した本人に代わり、(④ 金銭管理)等を行うことができる。 契約、契約の取り消し、財産管理、各種申請、各種請求 等

7. 専門職についての文章で間違っている箇所を線で引き、正しい文言を書きなさい。(配点 1×4) 社会の理解

- ① 地域包括支援センターに配置される職種は主任介護支援専門員、介護福祉士、社会福祉士である。

保健師(看護師○)

- ② 理学療法士は、食事や歯を磨くなどの応用的な動作のリハビリテーションを行ったり、身体的機能だけでなく精神に対しても治療を行う。

作業療法士

- ③ 生活相談員は、訪問介護事業所において介護サービスの実施計画の立案を行う職種である。

サービス提供責任者 ○サ責

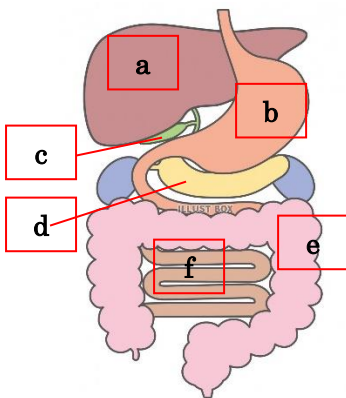
- ④ 介護支援専門員の資格を取得するためには、保健・医療・福祉の法定資格を持ち、現場で5年以上の実務経験を経て、市町村長が実施する試験を合格

都道府県知事

しなければならない。

8. こころとからだの仕組みについて、下記の問いに答えなさい。(11) こころとからだのしくみ

- (1) それぞれの消化器の特徴を読み、イラストから該当する記号を選び、かつ消化器の名前を書きなさい。(配点 1×3) * 記号と消化器名両方書けて○



記号	消化器名	消化器の特徴
① a	肝 臓	脂肪の消化を助ける胆汁を分泌する。
② d	膵 臓	ランゲルハンス島をもち、インスリンなどのホルモンを分泌する。
③ f	小 腸	十二指腸、空腸、回腸に区分される。腸液などの消化液により、栄養分が吸収される。

- (2) I A D L (Instrumental Activities of Daily Living; 手段的日常生活動作)に含まれる項目として、正しいものを2つ選びなさい。(配点 1×2)

- ①洗面 ②更衣 ③移乗 ④洗濯 ⑤買い物

④	⑤
---	---

- (3) 下記事例のJさんは廃用性症候群の予備軍といえます。予防方法について専門職としてアドバイスしなさい。(配点 2)

【事例】Jさん(80歳,女性)は腰椎圧迫骨折のため2週間入院し、10日前に退院した。症状は軽快し現在はコルセットを使用しており、腰痛もない。

ほかに持病はなく日常生活は自立している。近所に住む娘からは「昼間に様子を見に行くと、いつも横になっている」と言われている。

- | | |
|-----------------------|-----------------------------------|
| ・日中の休憩時は、座位でとるように行う。 | ・趣味活動や他者との交流など意欲低下の予防につながる活動を勧める。 |
| ・ベッド上で上肢や下肢を動かす運動を行う。 | ・家族や友人、近隣などが定期的に訪問し人との関わりを保持する。 |

△リハビリや介護サービスを勧める(ただし、下肢運動を行うためにデイを利用する 等目的込みなら○)

- (4) 食事のたんぱく質制限が必要な疾患として何があるか答えなさい。(配点 2)

尿毒症、肝不全、腎機能障害
○腎臓病 ○腎不全



(5) ボディメカニクスには8つの原則があります。そのうちの2つを答えなさい。(配点 1×2)

支持基底面を広く取り、重心を低くする。 利用者と介護者双方の重心を近づける。 大きな筋群を使う。 足先とからだを動かす方向に向ける。

利用者の体を小さくまとめる。「押す」よりも「手前」に引く。 介護者の重心水平移動で利用者を動かす。 てこの原理を応用する。

9. 認知症対応に関する事例について、下記の問いに答えなさい。(8) 認知症の理解

【事例】

Hさん(78歳、女性)は3か月前に転倒骨折し下肢筋力が徐々に乏しくなってきた。また同時期にアルツハイマー型認知症と診断されている。長年主婦として家事を切り盛りし、裁縫や編み物が得意であり、昔は着物の仕立ても行っていた。夫が亡くなり3か月ほど経った頃から夕方になると「夫が帰ってこない」と玄関先に座るようになり、夜中に夫を探して家中を歩き回るようになった。息子夫婦と同居していたがHさんが夜間に家中を歩きまわるため、息子の嫁が、不眠が続き体調を崩してしまい、Hさんは特養に入所することになった。

(1) 夕方になると、足早に荷物を持って外に出ようとするHさんに対して、スタッフとしてどのように働きかければよいか答えなさい。(配点 2)

・家に帰りたいのですねと一旦共感する、夕食の手伝いを一緒にしてもらえないかお誘いする。 △他の話題に切り替える。嘘をつくような対応
・目的を聞き共感する。可能ならば館内や敷地内を少し一緒に歩いて落ち着いて頂く。

(2) 息子が週1回程度面会に来るようになったが、認知症の進行を心配している。息子への働きかけとして施設スタッフとして正しい対応を答えなさい。(配点 2)

・過去1週間のHさんの生活の状況を報告する、面会時にHさんと一緒に散歩に行くことを勧める、今後予測されるHさんの状態を説明する。
・病状のことで心配することがあれば治療や医療職チームと連携して対応をすることを伝える。
・環境の変化から精神的に不安定になられている事も予測できるため、慣れ親しんだ家具や家族の写真等を持ってきて頂くようお願いする。

(3) 現在のHさんの食事形態は、副食にとろみがけの対応を行っている。どのようなリスクがある場合に、食事をとろみ食にする必要があるか答えなさい。(配点 2)

・誤嚥を防ぐため。加齢や病状の影響で飲み込む筋力が落ちているとき。 ・食事や水分摂取の際に「むせ」が気になるとき
・噛む力が低下しているとき。 ・経口摂取を継続する必要があるとき

(4) 軽度認知症障害といわれる認知症の一手手前の状態のことを、ローマ字でなんというか答えなさい。(配点 1)

MCI

(5) 認知症のスクリーニング検査として用いられる1つで、年齢、日時、場所など9つの質問でテストをし、30点満点中20点以下で認知症を疑う検査の名称を答えなさい。(配点 1)

長谷川式認知症スケール (HDS-R)
○長谷川式

10. 生活支援技術について、()内の適切な語句に○をつけなさい。(配点 1×4) 生活支援技術

- ① 腸管出血性大腸菌(接触感染 ・ 空気感染 ・ 経口感染)であり、下痢の症状などがみられる。
② 人は一般的に1日に約、(1000 ・ 2000 ・ 2500) mlの水分摂取が必要とされている。
③ 過ごしやすい生活の場づくりとして、車椅子使用の利用者宅の場合の通路は最低(70 ・ 85 ・ 95) cmは確保する。
④ 国際生活機能分類(ICF)に基づいて分類する場合、「歩く」ことは(心身機能 ・ 身体構造 ・ 活動 ・ 移動)に分類される。